



今年度もあと1ヶ月・・・

校長 西田和弘

今年度もあと1ヶ月を残すばかりとなりました。生徒のみなさんも1年のまとめを意識し、残りの1か月を過ごしてほしいと思います。

私自身もこの一年をまとめ、一年間の振り返りを行いたいと思います。今年は小中一貫校「彩和学園」として3年目、コミュニティスクール彩和学園として1年目を迎えました。一貫教育やCSの取組みを積極的に行えた一年間であったと思っています。

その代表的な取組みをご報告させていただき、保護者の方や地域の方と共有させていただきたいと思います。

一貫教育のねらいを達成するための取り組みとして、まず『**学園集会**』があげられます。1～9年生の全児童生徒が集まり、上級生がリーダーシップを発揮して運営を担います。今年は縦割り班でビンゴゲームをオンラインで行い、新しい取組としても充実しました。次は、異学年交流の一つである『**6&8イングリッシュミーティング**』です。英語学習のつながりを強固にするために工夫された取組です。英語で会話する楽しさを交流することで感じることができます。8年生は6年生に工夫した英語での会話や方法や苦戦する場面もありました。そして、彩和学園の特徴である『**未来科**』の充実です。9年生の未来科では、人権学習のまとめを探究学習で行い、「明るい未来」をテーマに活動しました。最高学年である9年生の探究の成果が、1～8年生のお手本＝ゴールになるよう努力する姿がありました。

次は、コミュニティスクールの取組みです。学園運営協議会を立ち上げ年間5回の協議会と1回の研修を行いました。協議会では委員のみなさんで熟議を重ね、学園がよりよいものになるよう様々なご意見をいただきました。通年でCSの取組みをおこなったのが、具体的な取組みとしては、『**寺子屋プロジェクト**』があります。地域ボランティアの方や学生ボランティアの方と小学生中心の子どもたちが、放課後の子どもの居場所づくり、ななめの関係づくりをねらいとして、交流や学習を行いました。回数を重ねるごとに参加する子どもの人数が増え、子どもたちからも「先生！次の寺子屋いつやるの？」と期待する発言も聞こえてきました。また、新規の取組みを2つご報告します。1つ目は、『**拡大クリーン作戦**』で、2つ目は『**赤ちゃん交流会**』です。

拡大クリーン作戦は、学園の土曜参観を利用し、全児童生徒と教職員、保護者・地域の方で清掃活動を通して交流する取組です。子ども同士、子どもと大人、大人同士で顔と名前がわかる関係づくりをねらいとして行いました。初めての取組みで課題もありましたが、CSとして一体感を感じることでできる取組みでした。

最後は、赤ちゃん交流会です。市の子育て支援センターでもある富貴の里保育園に協力してもらいました。7年生が0～2歳の赤ちゃんとお母さんと交流するものです。参観していただいた運営協議会委員の方から、「やさしく赤ちゃんとおふれあい、中学生がとってもいい笑顔をしていたね」とほめていただきました。

以上のような取組みに代表されるように、彩和学園らしい特色のある取組みが実施できました。また、一つ一つの取組みを通して子どもたち自身が成長を感じることもできました。これも、まずは何事にも一生懸命になれる彩和学園の子どもたちのがんばり、そして彩和学園に関わってくださっているすべての関係者の方からのご支援があったからです。

あらためて、ご協力に感謝を申し上げます。本当にありがとうございます

Together! 切磋琢磨 **MEIJIKE'** を合言葉に！

彩和学園 【めざす子ども像】

「今と未来、社会でいきる自分らしさを」～すすんで「挑戦」 つづける「継続」 つながる「共生」～